

産 業



畜 産

肉用牛の生産額で県北一を誇る東和町。近年は地形・風土を活かした地域活性化のため、めん羊の飼育にも取り組んでおり、肉・毛の生産や未利用資源の活用に関心が寄せられています。羊は親しみやすく飼いやすい動物であることから、高齢者の生きがい対策として、また、人と動物とのふれあう機会の創出として期待が持たれています。



稲 作

農業の担い手の確保と、各種農業生産組織の育成・強化を図るとともに、農作物のブランド化を進め、農家の営農指導を強化しています。中心となる米はコシヒカリを栽培。有機質肥料を使用し、山間の清水で育てた低農薬の米は高い評価を得ています。他にも、都会の農業希望者やふれあい農業の受け入れを促進し、定住化と活性化を図っています。



新しい取組み

～サツキ・カボチャ栽培～

遊休桑園の有効利用と養蚕に変わる農作物の栽培のため、町では平成3年からサツキの栽培に取り組んでいます。サツキの生産地としては最北端にあるため、耐寒性に優れているのが特徴で、平成7年の初出荷以来、出荷額、生産数量、作付け面積とも年々増加しています。同じく遊休桑園を活用して生産されているミニカボチャも、町の新しい特産品として注目を集めています。

新しい試みと確かな技術で
活性化をはかる。

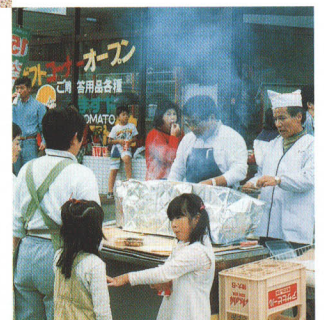


めん羊



工業団地

東北自動車道二本松ICまで約20分、磐越自動車道船引三春ICまで約35分と、高速交通網へのアクセスに便利な東和町。県道原町・二本松線に隣接する太田工業団地には、現在2社が立地し40人が就業しています。また、国道349号沿いにはオーダーメイド方式による太田第二工業団地も分譲中で、新たな雇用の場として期待が寄せられています。



商店街